

1995[H. 7]	1996[H. 8]	1997[H. 9]	1998[H. 10]
<ul style="list-style-type: none"> ●世界貿易機関(WTO)発足 ●阪神・淡路大震災発生 ●地下鉄サリン事件 ●学校週5日制実施(月2日) ●サハリン大地震 ●九州自動車道全線開通 ●東京臨海副都心新交通システム「ゆりかもめ」開業 	<ul style="list-style-type: none"> ●橋本内閣発足 ●クリントン米大統領来日 ●コメ販売の自由化 ●アトランタオリンピック開催 	<ul style="list-style-type: none"> ●山陽新幹線・秋田新幹線開業 ●消費税率改正(5%) ●ベルー日本大使公邸人質事件解決 ●香港、中国に返還 ●ダイアナ元皇太子妃死去 ●マザーテレサ没 ●警越自動車道全線開通 ●長野新幹線開業 ●北陸自動車道全線開通 ●財政構造改革法成立 ●地球温暖化防止京都会議 ●東京湾アクアライン開通 	<ul style="list-style-type: none"> ●郵便番号実施(7桁) ●第18回冬季オリンピック長野大会開幕 ●明石海峡大橋開通 ●サッカーワールドカップフランス大会開幕(日本初出場) ●改正財政構造改革法成立 ●中央省庁等改革基本法公布・施行 ●小淵内閣発足 ●国民祝日法改正 ●財政構造改革法停止法公布
<ul style="list-style-type: none"> ●地方自治法一部改正(都市計画に関する事務、風致地区内における規制事務等の特例を設ける) ●東京臨海副都心の国際展示場「ビックサイト」竣工 	<ul style="list-style-type: none"> ●環境ふれあい公園の整備実施 ●都市公園等一体整備促進事業の実施 ●都市公園法施行令の一部改正 ●上野公園開園120周年記念行事開催 ●英国王立キュー植物園ジャパニーズゾーン竣工(日本の造園関係者協力) ●広島原爆ドーム、厳島神社、世界遺産に登録 ●第1回行政改革会議開催 ●第6次都市公園等整備5ヶ年計画 ●グリーンプラン2000(建設省) ●第1回国営公園制度問題研究会開始 	<ul style="list-style-type: none"> ●フジテレビ新本社ビル 	<ul style="list-style-type: none"> ●「今後の都市政策はいかにあるべきか」答申(都市計画中央審議会) ●都市公園等整備5ヶ年計画の改定を閣議決定 ●都市公園等整備7ヶ年計画の公表 ●1999年昆明世界園芸博覧会に対する公式参加の閣議決定 ●中心市街地活性化広場公園整備事業の実施 ●国営讃岐まんのう公園一部開園 ●中心市街地における市街地の整備改善及び商業等の活性化の一體的推進に関する法律公布 ●地球温暖化対策推進大綱(地球温暖化対策推進本部) ●国営木曾三川公園パークセンター開園 ●国営越後丘陵公園一部開園 ●社日本造園コンサルタンツ協会設立(CLA)【建設大臣認可】(社日本造園コンサルタンツ協会を改称) ●都市計画法施行令の一部改正
<ul style="list-style-type: none"> ●「新しい環境文化の創造—造園コンサルタンツビジョン—」発行 ●ジャパンイフラ結成 ●日本ランドスケープフォーラム(JLRF)結成 ●IFLA第32回バンコク大会「観光業の発展とランドスケープの変遷」 ●世界公園フェスティバル'95開催(愛知県) ●第12回全国都市緑化いばらきフェア開催 	<ul style="list-style-type: none"> ●第13回全国都市緑化とやまフェア開催 ●IFLA第33回フィレンツェ大会「地球にパラダイスを—21世紀の庭園」 	<ul style="list-style-type: none"> ●造園・環境緑化産業振興会設立 ●第14回全国都市緑化ひろしまフェア開催 ●IFLA第34回ブエノスアイレス大会「レクリエーションとランドスケープ」 	<ul style="list-style-type: none"> ●オーストラリア研修旅行 ●第15回全国都市緑化いがたフェア開催 ●NHK連続テレビ小説「やんちゃくれ」放送 ●ASLA'98大会及びEXPO視察研修旅行 ●IFLA第35回パリ大会「ランドスケープアーキテクチャー/未来、責務、挑戦そしてチャンス」の探求
<ul style="list-style-type: none"> ●南湖公園整備事業 日本庭園「翠楽苑」 ●THE JAPANESE GARDEN IN HERMANN-PARK ●風水とモダニズム—ゴルフクラブツインフィールドズのウォーターガーデン ●砂丘・海浜ゾーン実施基本計画 ●都市花空間(フローラルスペース)創出のための研究 ●世界遺産申請資料(京都) ●鹿子前集団施設地区ランドスケープ設計 ●貝ヶ森公園 ●「農の文化と親しむ」北本市生産緑地地区利活用計画 ●道路緑化実施計画 ●自然にやさしい技術100事例～人と自然との共生をめざして～ 	<ul style="list-style-type: none"> ●千葉市花の美術館(都市緑化植物園) ●富士山ファミリーパーク バードハウス ●義島彫刻ふれあいの森(仮称)基本計画・基本設計 ●十和田湖可景観ガイドライン ●CADシミュレーションによる設計支援システム ●台東区立隅田公園(Cゾーン—東武鉄橋から吾妻橋まで) ●井頭公園北の拠点ゾーン(実施設計) ●シンボル緑地「水の丘」 ●有明南緑道公園実施設計 ●館山市複合リゾートカントリー整備計画調査 ●下関市「わがまちの斜面構想」斜面環境の整備に関する調査 ●美しいまちのけしき(ビデオ)、くらしと景観(副読本) ●札幌市藤野むくどり公園 ●高速道路建設におけるギフチョウの保全 	<ul style="list-style-type: none"> ●光・風・緑のガーデンマンション・東急ドエルプレステージ等々々 ●第14回全国都市緑化ひろしまフェア ●IFLA第34回ブエノスアイレス大会 ●東はりま水辺の里公園 ●隠岐の景観づくりガイドプラン ●サッポロさくらんど整備設計 ●正連寺川鳥帽子公園 ●千葉市少年自然の家基盤整備基本設計 ●菟山自然公園公園計画策定のための基礎調査委託 ●近畿自動車道尾鷲勢和線 紀勢～勢和間自然環境調査 ●公園事業積算体系構築検討調査 ●泉南市都市公園整備事業柏の葉公園資源再利用計画検討業務委託 	<ul style="list-style-type: none"> ●新潟県立植物園 ●下町河川の明日を創る会報告 ●ガーデンシティ目白台ランドスケーププラン ●鎌倉市緑の基本計画 ●八日市場環境基本計画 ●大田区「緑大好き」緑化フェアの開催
<ul style="list-style-type: none"> ●京都府立関西文化学術研究都市記念公園(伝統庭園ゾーン) ●岐阜県営可児公園 ●大阪市花博記念公園(草原のエリア) ●東京都立井の頭恩賜公園 ●和歌山県営和歌公園(片男波地区) ●若園公園(バラ苑) ●茨城県立自然博物館・ミュージアムパークの設計 ●梅小路公園シンボル庭園の設計及び現場デザイン 	<ul style="list-style-type: none"> ●国営備北丘陵公園(文化の里) ●ジャングル公園 ●狭馬区立立野公園 ●菟山公園 ●東京都立潮風公園 ●子供のもり公園伊勢崎 ●三鷹市における緑と水の回遊ルート整備計画 	<ul style="list-style-type: none"> ●国営昭和記念公園(日本庭園) ●宇治市植物公園 ●アンデルセン公園(メルヘンの丘) ●国営木曾三川公園(三派川地区センター) ●山梨県立森林公園金川の森(森林と水のプロムナード) ●町田市立忠生公園 ●札幌市石山緑地・探石場跡地のランドスケープデザイン ●大阪府宮りんくう公園・シンボル緑地南ゾーンの設計 	<ul style="list-style-type: none"> ●あけぼの子どもの森公園 ●野添北公園 ●大阪市西梅田公園 ●東京都立倉人公園 ●せせらぎ公園 ●神戸市苔谷公園 ●ランドスケープ・イメージのコンセプトに基づく天王寺動物園の再整備計画 ●台湾宜蘭縣立羅東運動公園の設計

西暦 (和暦)	1999(H. 11)	2000(H. 12)	2001(H. 13)
一般史 政治/ 経済/ 社会	<ul style="list-style-type: none"> ●欧州統一通貨「ユーロ」誕生 ●本四連絡橋・瀬戸内しまなみ海道（尾道～今治）全通 ●情報公開法設立 ●国旗・国歌法成立 ●トルコ大地震 ●台湾大地震 ●JCO臨界事故発生 ●マカオ、中国に返還 	<ul style="list-style-type: none"> ●国際園芸・造園博「ジャパンフローラ2000」（淡路花博）開催 ●東京都、外形標準課税導入を決定 ●有珠山再噴火（1977年以來） ●介護保険制度スタート ●森内閣発足 ●ストーカー行為規制法公布 ●三宅島雄山噴火 ●先進国首脳会議（沖縄サミット） ●二千円札発行 ●シドニーオリンピック開催 ●鳥取県西部地震 ●白川英樹ノーベル化学賞受賞 ●東京都営地下鉄大江戸線全線開通 	<ul style="list-style-type: none"> ●1府12省庁体制スタート ●ハワイ沖で実習船「えひめ丸」が米原潜と衝突沈没 ●外務省機密費流用事件 ●小泉内閣発足 ●米国同時多発テロ事件 ●野依良治ノーベル化学賞受賞 ●奄美大島沖不審船事件
関連分野の動き 都市計画/ 土木/建築/ デザイン等		<ul style="list-style-type: none"> ●渋谷マークシティ ●都市計画法及び建築基準法の一部改正 	
法制度 (行政・団体・ 協会・資格等)	<ul style="list-style-type: none"> ●中央省庁等改革大綱（中央省庁改革推進本部） ●生活空間倍増プランを閣議決定 ●防災公園・市街地一体整備事業の実施 ●緑化重点地区総合整備事業の実施 ●都市公園法施行令及び都市公園法施行規則の改正 ●中国'99昆明世界園芸博覧会開催 ●環境事業団法の一部改正 ●都市基盤整備公園法公布 ●ランドスケープコンサルタンツ協会（CLA） 【建設大臣認可】（社）日本造園コンサルタンツ協会を改称 ●国営木曾三川公園河川環境楽園・木曾川水園開園 ●防災公園街区整備事業の実施（都市基盤整備公園） 	<ul style="list-style-type: none"> ●都市公園等統合補助事業の創設 ●防災公園総合整備事業の創設 ●都市計画法及び建築基準法の一部改正 ●国営滝野すずらん丘陵公園「中心ゾーン」開園 ●第26回主要先進国首脳会議（九州・沖縄サミット）開催（沖縄県名護市） ●21世紀の花みどり都市国際シンポジウム開催（兵庫県） （テーマ「人と自然のコミュニケーション—21世紀の快適な生活と美しいまちづくり—」） ●国営木曾三川公園長良川サービスセンター開園 ●緑の東京計画（2001～2015年度）発表（東京都） 	<ul style="list-style-type: none"> ●省庁改編（建設省・運輸省・国土庁・北海道開発庁が合併→国土交通省） ●国営飛鳥歴史公園「キトラ古墳周辺地区」の整備閣議決定 ●環境確保条例（東京都） ●国営吉野ヶ里歴史公園一部開園 ●ニセコ町まちづくり基本条例施行（北海道） ●都市緑地保全法一部改正 ●緑化施設整備計画認定制度創設
環境行政/ 法制度/ 資格等			
造園界の動き	<ul style="list-style-type: none"> ●財2005年日本博覧会協会への職員派遣（H. 14まで） ●「造園工事基幹技能者」資格制度新設 （社）日本造園建設業協会および社日本造園組合連合会が共同 ●「街路樹剪定士」資格制度新設（社）日本造園建設業協会 ●第16回全国都市緑化みやざきフェア開催 ●FLA第36回コペンハーゲン大会「デンマークのランドスケープアーキテクチャ」 ●「みどりの環境文化の創造—ランドスケープコンサルタンツアクションプラン21—」発行 	<ul style="list-style-type: none"> ●「緑・花文化の知識認定試験」制度創設（財公園緑地管理財団） ●兵庫県立淡路景観園芸学校へのインストラクター派遣 ●英国チェルシーフラワーショー「2001」開催に際し、英国「JAPAN 2001」日本庭園出展委員会（吉兼三郎委員長）を組織（日本庭園出展） ●日本国際賞受賞記念特別講演会開催 ●21世紀のランドスケープ国際シンポジウム開催（大阪市 鶴見緑地【花博記念公園】） （テーマ「新世紀のランドスケープのビジョンを求めて」） ●第7回国際ランドスケープアライアンス年次フォーラム開催 ●第10回IFLAイースタン地区2000年大会（兵庫県淡路島） 「地球時代における地域ランドスケープの再生と創造への戦略」 ●世界名園シンポジウム（岡山市）（岡山県及び社日本造園学会等主催）テーマ「庭園の心、新世紀へ」 ●第17回全国都市緑化とちぎフェア開催 ●FLA第37回サンホセ大会「天然資源の保護とエコツーリズム」 ●振興会「サンケイカラー百科 マンガ壁新聞」発行 	<ul style="list-style-type: none"> ●社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会東北支部設立 ●IFLA第38回シンガポール大会 「新世紀におけるアジア」 ●第18回全国都市緑化いしかわフェア ●振興会「サンケイカラー百科 マンガ壁新聞」発行
協会賞 CLA賞		<ul style="list-style-type: none"> ●横浜動物の森公園第2、3ゾーン実施設計 ●よこはま動物園ズーラシア“アジアの熱帯林”“亜寒帯の森”（前半部） ●サンシティ・コミュニティ・ランドスケープ ●北八期公園 ●避難場所防災機能調査 ●建替事業における既存樹木等の有効利用に関するパンフレット及びグッズの製作 ●ふれあいの水辺北沢川緑道 ●弓ヶ浜公園「みんなの遊具広場」 ●未来に伝えよう！「多摩平の森」—みんなでつくった多摩平園地自然公園へのマスタープラン ●住民参加による尺丈山百樹の森整備事業 ●宮崎県工業技術センター・ランドスケープ ●八幡東田緑地 ●十勝・千年の森構想 ●泉大津市都市景観形成基本計画 	<ul style="list-style-type: none"> ●多摩中央公園 ●「都市のエコロジカルネットワーク」図書を作成 ●緑のリサイクル技術の開発研究 ●梅小路公園に関する一連の業務 ●都市における緑化推進施策の展開に関する調査 ●海南市わんぱく公園 ●田貫湖ふれあい自然塾 ●山梨県はたる見橋公園 ●花博記念公園鶴見緑地 自然体験観察園 ●新しいかわ動物園 ●ガーデンハウス周辺フィールド基本構想 ●全国都市緑化とちぎフェア「マロニエとちぎ緑化祭2000」出展庭園 ●琵琶湖大噴水 ●なごや西の森づくり ●海運双子池公園ワークショップ業務 ●22世紀の都市の森づくり運営委託 ●「大地の景」淡路花博 国際庭園展示（兵庫県の庭） ●全国都市緑化 とちぎフェアみふ会場（一部）
作品 論文	<ul style="list-style-type: none"> ●静岡岡富士山こどもの国（まち、そうげんのくに、みずのくに） ●大津湖岸なぎさ公園（打出の森地区） ●横浜動物の森公園（アジアの熱帯林、亜寒帯の森前半部分） ●鶴見緑地（自然体験観察園） ●センター南広場 ●中央公園（人工地盤、階段広場、シンボル広場） ●大泉緑地・ふれあいの庭 	<ul style="list-style-type: none"> ●新潟県立植物園 ●田原橋公園 ●阿波岐原森林公園（フローランテ宮崎の全域） ●小布施総合公園（噴水広場、芝生広場、テイクヤンプ場等） ●東京都立野山北・六道山公園（あそびの森） ●前橋公園（親水、水上ステーション） ●都市における植物の蒸散による夏期温熱改善力に関する研究 ●「板橋サンシティ」コミュニティ・ランドスケープの計画と育成 ●札幌芸術の森の設計 兵庫県立淡路景観園芸学校の敷地設計 ●横浜動物園ズーラシア第1次開園区域展示設計 	<ul style="list-style-type: none"> ●とちぎわんぱく公園 ●国営木曾三川公園（木曾川水園） ●神奈川県立座間谷戸山公園 ●大阪市花と緑と自然の情報センター整備・運営計画

2002(H. 14)	2003(H. 15)	2004(H. 16)	2005(H. 17)
<ul style="list-style-type: none"> ●2002年第17回サッカーワールドカップ韓国・日本大会開幕 ●日朝首脳会談、日朝平壤宣言 ●北朝鮮による拉致被害者5人帰国 ●小柴昌俊ノーベル物理学賞受賞 ●田中耕一ノーベル化学賞受賞 	<ul style="list-style-type: none"> ●米軍対イラク攻撃、イラク戦争 ●日本郵政公社発足 ●宮城県沖地震 ●サダム・フセイン元大統領拘束 ●自衛隊イラク派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ●九州新幹線新八代～鹿児島中央間部分開業 ●イラク人質事件 ●しずおか国際園芸博覧会浜名湖花博開催 ●北朝鮮による拉致被害者家族8人帰国 ●アテネオリンピック開催 ●北オセチア・ベスランの学校をチェチェン武装勢力が占拠 ●プロ野球新規参入 ●新潟県中越地震 ●紙幣刷新（一万円、五千円、千円） ●スマトラ沖大地震及びインド洋津波被害 	<ul style="list-style-type: none"> ●京都議定書発行 ●中部国際空港開港 ●2005年日本国際博覧会（愛知万博） ●福岡西方沖地震 ●第89代小泉第三次改造内閣発足 ●スマトラ島沖地震 ●JRR福知山線脱線事故 ●個人情報保護法施行 ●スペースシャトル「ディスカバリー」打上げ成功 ●香港ディズニーランド開業 ●プロ野球千葉ロッテマリーンズ31年ぶり日本一 ●紀宮内親王ご成婚
<ul style="list-style-type: none"> ●赤レンガ倉庫 ●新丸ビル ●カレッタ汐留 	<ul style="list-style-type: none"> ●六本木ヒルズ ●ONE表参道 ●日本道路公団藤井治芳総裁解任、新総裁に近藤剛参院議員が就任 ●珠洲原発建設計画凍結 ●巻原発建設断念 ●日本道路公団民営化基本枠組み決定 ●まつだい雪国農耕文化村センター 	<ul style="list-style-type: none"> ●まつもと市民芸術館 ●日本道路公団などを民営化する道路関係4公団民営化関係4法が可決・成立 ●汐留住友ビル ●東京汐留ビル ●地中美術館 ●品川シーサイドフォーレスト ●金沢21世紀美術館 ●羽田空港第二旅客ターミナル 	<ul style="list-style-type: none"> ●道路関係4公団民営化 ●耐震強度偽装事件
<ul style="list-style-type: none"> ●都市再生特別措置法制定 ●宝塚市まちづくり基本条例施行（兵庫県） ●生野町まちづくり基本条例施行（兵庫県） ●国営明石海峡公園（淡路地区）一部開園 	<ul style="list-style-type: none"> ●都市公園法施行令改正 ●社会資本整備重点計画法施行 ●美しい国づくり政策大綱 ●指定管理者制度導入 ●社会資本整備重点計画閣議決定 ●国営東京臨海広域防災公園都市計画決定告示 	<ul style="list-style-type: none"> ●ヒートアイランド対策大綱策定 ●国営公園での年間パスポート券の発行開始 ●景観緑三法成立 ●都市緑地保全法を「都市緑地法」に改正 ●都市公園法改正 ●都市基盤整備公団が独立行政法人都市再生機構に再編される ●紀伊山地（「紀伊山地の霊場と参詣道」など）、世界遺産に登録 ●キトラ古墳、壁画修復のための剥ぎ取り作業開始 ●国営アルプスあづみの公園開園 ●景観緑三法施行（景観法第三章（景観地区等）の規定除く） 	<ul style="list-style-type: none"> ●公共工事の品質確保の促進に関する法律施行 ●日本の景観を良くする国民大会開催
<ul style="list-style-type: none"> ●登録ランドスケープアーキテクト資格制度総合管理委員会発足 ●第19回全国都市緑化やまがたフェア ●公園診断と安全・安心の公園づくりシンポジウム ●IFLA第39回ラトヴィア・エストニア・リトアニア大会「ランドスケープにおける変遷」 	<ul style="list-style-type: none"> ●第20回全国都市緑化おおいフェア ●IFLA第40回カルガリー大会「境界にあるランドスケープ」 ●日比谷ガーデニングショー開催 ●振興会「サンケイカラー百科 マンガ壁新聞」発行 ●ジャパンイフラ「飛鳥時代の庭」研究報告・見学会開催 	<ul style="list-style-type: none"> ●第21回全国都市緑化しずおかフェア ●NHK連続テレビ小説「わかば」放送 ●IFLA第41回台北大会「ランドスケープアーキテクトにおける調和と融合」 ●「登録ランドスケープアーキテクト（RLA）認定試験」制度創設 	<ul style="list-style-type: none"> ●造園継続教育[CPD]制度本格実施 ●第22回全国都市緑化ふくおかフェア ●振興会景観シンポジウム ●振興会指定管理者セミナー ●ランドスケープアーキテクトセミナー ●中越・小千谷ワークキャンプ2005 ●振興会長岡シンポジウム ●東京ガーデンジュエリー 2005
<ul style="list-style-type: none"> ●国営ひたち海浜公園砂丘ガーデン ●チャンネルワフタワーズのランドスケープ ●アーベイン川崎都市の森屋上ビオトープ ●フロンテ宮崎 ●昭和記念公園「もくもくゲーム」 ●平成12年度エコバラクラブ運営業務 ●難波宮跡公園 ●新潟競馬場 樹林保全整備設計 ●浜北新都市緑化整備計画策定業務 ●常磐新線沿線開発地区共管理計画 ●空間芸術の森公園【仮称】マジシャンクレイの森基本計画 ●仙台北下現代複合園 	<ul style="list-style-type: none"> ●国営木曾三川公園河川環境楽園木曾川水園 ●生野区南部地区まちかど広場（4ヶ所） ●平良市における農村振興総合整備事業を契機とした体験・滞在・交流型観光の展開方策の検討 ●いたかの森 ●神奈川県におけるはじめての街路樹診断倒（木危険度判定）業務 ●「仰木里山物語」構想 ●新大宮バイパス植栽検討業務 ●樹フローランテ宮崎における花と緑の取り組み ●山口県立きららスポーツ交流公園トリムの広場 ●北九州市立大学国際環境工学部及び北九州学術研究都市共同利用施設群 ●安全・安心の公園づくりシンポジウム 	<ul style="list-style-type: none"> ●なんばパークス パークスガーデン植栽設計 ●「田上百年の森づくり」～いにしへの緑をわれわれの手で～ ●国史跡安国寺集落遺跡歴史公園 ●東条町 ゆめのくにこうえん ●花と緑と自然の情報センターアトリウム、ルーフガーデン ●松原団地西口公園～公園のアイデンティティと継承すべきもの～ ●江戸川区水と緑の行動指針 ●暇ヶ谷庭園 緑の保全回復調査 ●神田外語大学SACLA外構プロジェクト ●大石グリーンパーク ●きらら浜自然観察公園 ●「九州道路緑化ハンドブック」 ●上野公園サインシステム・デザインマニュアル ●2002年ハールレミアア国際園芸博覧会出展庭園 	<ul style="list-style-type: none"> ●天王寺動物園アジアの森 ●多摩川ふれあい施設設計 ●みなくち子どもの森 ●みなみ野シティ 栃谷戸公園 東雲公園 ●毛馬桜之宮公園 藤田邸跡 ●浜名湖花博 国土交通省中部地方整備局出展庭園「循環の庭」 ●身近な公園の利用実態 ●佐倉市市民文化資産を考えるワークショップからの提言 ●青山公園再生基本設計
<ul style="list-style-type: none"> ●空間芸術の森公園（陶の社） ●ゆにハープガーデン（芝生広場、ローズガーデン等） ●到津の森公園 	<ul style="list-style-type: none"> ●北海道立十勝エコロジーパーク ●東京都立野山北・六道山公園（里山作業施設等） ●武蔵野緑団地の建替事業における造園計画 	<ul style="list-style-type: none"> ●毛馬桜之宮公園（藤田邸跡） ●大洲防災公園 ●みなくち子どもの森 	<ul style="list-style-type: none"> ●みなとの見える丘公園（フランス山地区） ●愛知青少年公園（日本庭園） ●東雲緑地（東雲公園ゾーン） ●2005年日本国際博覧会（愛知万博）における環境影響評価 ●京都迎賓館庭園プロジェクト ●関西労災病院ホスピタルパーク「いぶきの園」 ●なんばパークス パークスガーデン植栽設計 ●城西国際大学ランドスケープデザイン

西暦 (和暦)	2006(H.18)	2007(H.19)	2008(H.20)
一般史 政治/ 経済/ 社会	<ul style="list-style-type: none"> ● トリノ冬季オリンピック開催 ● ワールドベースボールクラシック第1回大会日本優勝 ● FIFAワールドカップドイツ大会 ● ふじみ野市大井プール吸い込み事故 ● みどりの学術賞創設 ● 悠仁親王誕生 ● 第90代安倍内閣発足 ● タイ・チェンマイ国際園芸博覧会開催 	<ul style="list-style-type: none"> ● 第91代福田内閣発足 ● みどりの日制定 ● 新潟県中越沖地震 ● 郵政民営化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 第92代麻生内閣発足 ● 洞爺湖で第34回主要国首脳会議 ● 観光庁発足 ● 第29回北京オリンピック開催 ● 公益法人改革三法成立 ● リーマンショック ● 小林誠、益川敏英、南部陽一郎ノーベル物理学賞受賞 ● 下村脩ノーベル化学賞受賞
関連分野の動き 都市計画/ 土木/建築/ デザイン等	<ul style="list-style-type: none"> ● 表参道ヒルズ ● 神戸空港 ● 都市計画法、建築基準法改正 ● 建築士法改正 	<ul style="list-style-type: none"> ● 東京ミッドタウン ● 新丸の内ビル 	<ul style="list-style-type: none"> ● 阪急西宮ガーデンズ ● 徳山ダム ● 赤坂サカス
法制度 (行政・団体・ 協会・資格 等) 環境行政/ 法制度/ 資格 等	<ul style="list-style-type: none"> ● 国土交通省入札ポンド導入 ● バリアフリー新法成立 	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光立国推進基本法施行 ● 建設コンサルタント登録規程の一部改正 	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境行動計画2008策定 ● 国土交通省都市・地域整備局公園緑地・景観課組織改編 ● 歴史まちづくり法施行 ● 環境影響評価法改正 ● 公益法人制度改革 ● 国土形成計画(全国計画)策定
造園界の動き 協会活動 思潮/ コンペ/ 教育/出版/ 業界 等	<ul style="list-style-type: none"> ● CLA事務所を千代田区平河町から千代田区一番町へ移転 ● 第23回全国都市緑化おおさかフェア ● ランドスケープアーキテクトセミナー ● 東京ガーデニングジュエリー2006 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「美しい景観・まちづくりに役立つ景観55事例」発行 ● シンポジウム「美しい景観を創るには? —ランドスケープアーキテクトの視点から—」 ● 関東支部「震災遺産を継承しよう・2007」 ● ランドスケープアーキテクトセミナー ● 第24回全国都市緑化ふなばしフェア 	<ul style="list-style-type: none"> ● 第25回全国都市緑化くまみフェア ● 「シンポジウム スポーツと環境都市の未来を考える」 ● ランドスケープアーキテクトセミナー ● ガーデンアイランド北海道2008 ● 中部支部発足20周年記念事業
協会賞 CLA賞	<ul style="list-style-type: none"> ● 公園わくわくプラン 茅野市公園リニューアル計画 ● 穂高町における環境基本計画策定を通じた住民主体の計画づくり検討 ● 北京の集合住宅におけるランドスケープデザイン ● ナシオン 創造の森～住民参加のワークショップによる森づくりからコミュニティを育てる ● 里山復元における自然環境管理計画 千葉市少年自然の家 ● 安心あかり公園づくり事業～夜間公園の現状と改善の方向性、ならびに改善後の効果検証に関する調査 ● 中部国際空港「セントレア」緑地設計～高密度修景エリア「豊穡の庭」他 ●GENECITY [志木朝霞台マンション] ● 東久留米南沢水辺公園～ハーフメイドの公園づくり ● 浜名湖花博 花時計展示 ●愛・地球博「水の広場」 ● 愛・地球博記念公園「もりのゾーン」林床花園、親林楽園 	<ul style="list-style-type: none"> ● 愛・地球博 バイオラング～緑化に関わる全体サポート～ ● 多摩平岡地 森の再生整備設計 ●身近な水辺の自然環境の保全・創造 水元公園水産試験場跡地 ●六甲道南公園 ●自然との調和と地域活性化を図る都市公園 西の久保公園 [花しょうぶ園・自然生態園] ●都市近郊の「農」の環境保全に向けた提言—「多摩地域の里地里山の保全に関する調査研究」より— ●浦安地東地区2号近隣公園ワークショップ、実施設計およびイベント企画・運営について ●公園管理支援システムの開発と構築 ●お客さまへのおもてなしの心を屋上庭園で ●猿島公園 SARUSHIMA PARK ●東三河ふるさと公園●景観の経済価値評価手法検討とケーススタディー-石川県における眺望景観のもとらす経済効果の試算— ●2006年チェンマイ国際園芸博覧会 [ロイヤルフローラーチャブルック2006] 日本国出展 屋外展示出展「日本庭園」 ●第23回全国都市緑化おおさかフェア「西の丸地区」"もてなしの花座敷" ● 社会・環境貢献緑地評価システム [SEGES] の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ● 一終の住処は故郷の風景—介護老人福祉施設「あさひ苑」の造園設計 ● 小公園のリニューアルに関する一連の計画・設計 ● マンション緑地のリニューアルに関する一連の調査・計画 ● ヌーヴェル赤羽台のランドスケープ ● ひゅうヴェルジェ安中棟名 ● 四番町スクエア～大正ロマンに出会うまちづくり～ ● サムソンエバーランドズートピア「フレンドリーモンキーバレー」
作品 論文	<ul style="list-style-type: none"> ● 葉南公園 [札幌軟石ひろば] ● 国営昭和記念公園 (みどりの文化ゾーン) ● 六甲道南公園[全域] ● 尾瀬における利用体験上の収容力に関する調査手法の開発 	<ul style="list-style-type: none"> ● 天王寺公園 [天王寺動物園「アフリカ・サバンナ草食動物/肉食動物ゾーン」] ● 港区立芝公園 [全域] ● 都市防災公園に係る一連の調査および計画・設計技術の体系化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 茅ヶ崎城址公園実施設計 ● アイランドシティ中央公園 ● 柏崎・夢の森公園 ● 茶人岩谷浩三による一連の露地作庭と活動化 ● 高橋建設社屋造園設計

2009 [H. 21]	2010 [H. 22]	2011 [H. 23]
<ul style="list-style-type: none"> ●米国第44代大統領にバラク・オバマ氏就任 ●ワールドベースボールクラシック第2回大会日本優勝 ●若田光一飛行士2度目の宇宙へ ●裁判員制度実施 ●マイケル・ジャクソン死去 ●第93代鳩山内閣発足 	<ul style="list-style-type: none"> ●平城遷都1300年祭 ●チリ地震 ●バンクーバーオリンピック ●チリ鉱山落盤事故 ●第94代菅内閣発足 ●根岸英一、鈴木章ノーベル化学賞受賞 ●サッカーワールドカップ南アフリカ大会 ●小惑星探査機「はやぶさ」帰還 ●東北新幹線八戸・新青森間開通 ●羽田国際線ターミナル駅開業 	<ul style="list-style-type: none"> ●東日本大震災 ●九州新幹線全線開通 ●英ウィリアム王子結婚 ●ドイツで開催されたFIFA女子ワールドカップにてサッカー日本代表チーム優勝 ●地上デジタル放送へ完全移行 ●第95代野田内閣発足 ●アップルCEO スティーブ・ジョブズ死去 ●FIFAワールドクラシック ●中国'99昆明世界園芸博覧会開催
<ul style="list-style-type: none"> ●MAZDA Zoom-Zoomスタジアム広島 		
<ul style="list-style-type: none"> ●第2次社会資本整備重点計画閣議決定 ●社道路緑化保全協会解散 ●国土形成計画(広域地方計画)策定 	<ul style="list-style-type: none"> ●自然公園法及び自然環境保全法の一部を改善する法律施行 ●第10回生物多様性条約締約国会議 	<ul style="list-style-type: none"> ●民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律 [PFI法] 改正 ●建設コンサルタント登録規程の一部改正
<ul style="list-style-type: none"> ●第26回全国都市緑化おかやまフェア ●淡路島で開催予定だった全国公園緑地大会が新型インフルエンザの猛威により中止 ●登録ランドスケープアーキテクト資格認定試験受験資格の緩和 ●RLAガイドブック出版の会「ランドスケープアーキテクトになる本」出版 ●ランドスケープアーキテクトセミナー 	<ul style="list-style-type: none"> ●第27回全国都市緑化ならフェア ●韓国造景士協会 (KSLA) 創立30周年記念行事協力 ●CLA事務所を千代田区一番町から中央区東日本橋へ移転 ●ランドスケープアーキテクトセミナー ●ノルウェーランドスケープアーキテクト協会[NLA]との交流 	<ul style="list-style-type: none"> ●第28回全国都市緑化かごしまフェア ●ランドスケープアーキテクトセミナー ●進士五十八「日比谷公園一〇〇年の矜持に学ぶ」
<ul style="list-style-type: none"> ●喜瀬別邸HOTEL & SPAランドスケープ設計監理業務 ●練馬区立石庭の森緑地 ●若葉台公園 ●佐渡 トキ野生復帰ステーション設計業務 ●熊谷グリーンフォレストビレッジのランドスケープ ●第25回全国都市緑化ぐんまフェア高崎まちなか会場修景・演出計画 ●地域連携による資源有効活用方針検討〜エコあすか〜 	<ul style="list-style-type: none"> ●天王寺動物園「アフリカ・サバンナ草食動物/肉食動物ゾーン」 ●越谷レイクタウン大相模調節池修景設計 ●ひろしまガーデン＊ガーデン ●浜松モザイクカルチャー世界博2009 ●花畑公園：パークで筋トレ ●秋吉台自然動物公園 サファリランド「キッズサファリ」 ●国営昭和記念公園生物関連情報調査分析及び活用業務 ●広域レベルの生態系ネットワークの形成に向けた空間計画検討 ●鹿児島市景観計画 ●第26回全国都市緑化おかやまフェア会場計画 ●大野城市ふるさと文化財保存整備活用基本計画 ●板付ドリチャン倶楽部〜「身近なまちなか、まちかどのランドスケープ」創造の試み 	<ul style="list-style-type: none"> ●丸の内パークビルディング・三菱一号館新築工事ランドスケープ計画 (一号館広場) ●第27回全国都市緑化ならフェア やまと花ごよみ2010 ●広尾ガーデンフォレスト1・2期 ●石塚と武家門のある小広場の設計 ●一城下町の町割が残る歴史的町なみにおける小広場の設計 ●里地里山自然資源管理モデル検討調査 (自然資源の持続可能な利用・管理の事例及び手法の調査・検討) ●パークシティ浜田山における緑地環境保全 ●砂丘の植生マネジメントーダイキン工業グローバル研修所「ダイキンアレス青谷」を事例としてー
<ul style="list-style-type: none"> ●横浜動物の森公園 チンパンジー展示場エリア整備工事 ●練馬区立石庭の森緑地 ●アイランドシティ中央公園 ●五木村頭地代替地のランドスケープ計画・設計 ●シスメックス テクノパークの造園設計 ―文化と科学の融合から、新しい発想を生む仕掛け― 	<ul style="list-style-type: none"> ●野島公園旧伊藤博文金沢別邸周辺および牡丹園実施設計 ●河跡湖公園 ●うねうね公園 ●トルコ共和国三笠宮記念庭園の植栽と管理システムに関する造園技術 ●武田薬品研究所の全体と石庭―九山八海の庭― ●田園調布の四季の庭 	<ul style="list-style-type: none"> ●創生川公園 ●西大寺緑花公園 ●造園空間整備プロセスにおける計画、設計、施工、管理のあり方に関する一連の技術報告 ●兵庫県淡路郡舞子温泉・奇跡の星の植物館の展示に係るプロデュース、設計、施工、管理運営に関する造園技術 ●神宮前一丁目民活再生プロジェクト

西暦 (和暦)	2012(H. 24)	2013(H. 25)	2014(H. 26)
一般史 政治/ 経済/ 社会	<ul style="list-style-type: none"> ●東京ゲートブリッジ開通 ●東京スカイツリー開業 ●第30回ロンドンオリンピック開催 ●第96代安倍内閣 (第2次) 発足 ●山中伸弥ノーベル生理学・医学賞受賞 ●Windows8発売 	<ul style="list-style-type: none"> ●2020年東京オリンピック・パラリンピック開催都市決定 ●和食が世界無形文化遺産に登録 ●NHK連続テレビ小説「あまちゃん」放送開始 ●長嶋茂雄、松井秀喜国民栄誉賞同時受賞 ●出雲大社本殿遷座祭 ●ななつ星運行 ●猪瀬直樹東京都知事辞任 ●歌舞伎座新開場 ●富士山世界文化遺産登録 ●第97代安倍内閣 (第3次) 発足 	<ul style="list-style-type: none"> ●ソチオリンピック開催 ●消費税8%に増税 ●FIFAワールドカップブラジル大会開催 ●富岡製糸場世界遺産登録 ●デング熱ウイルス検出による代々木公園の一部封鎖 ●赤崎勇、天野浩、中村修二ノーベル物理学賞受賞
関連分野の動き 都市計画/ 土木/建築/ デザイン等	<ul style="list-style-type: none"> ●東急プラザ表参道原宿 ●渋谷ヒカリエ ●都市再生特別措置法改正 	<ul style="list-style-type: none"> ●KITTE ●新石垣空港 	<ul style="list-style-type: none"> ●あべのハルカス ●虎ノ門ヒルズ ●MARKS IS みなとみらい
法制度 (行政・団体・ 協会・資格 等) 環境行政/ 法制度/ 資格 等	<ul style="list-style-type: none"> ●観光立国推進基本計画閣議決定 ●財団法人公園協会解散 ●ランドスケープコンサルタンツ協会、一般社団法人へ移行 (内閣総理大臣4月1日) 	<ul style="list-style-type: none"> ●都市緑化技術開発機構と都市緑化基金の合併により、(公財)都市緑化機構発足 ●三陸復興国立公園設定 	<ul style="list-style-type: none"> ●登録ランドスケープアーキテクトフェロー制度創設 ●登録ランドスケープアーキテクト補 (RLA補) 制度創設 ●公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格登録規程施行
造園界の動き 協会活動 思潮/ コンペ/ 教育/出版/ 業界 等	<ul style="list-style-type: none"> ●第29回全国都市緑化フェアTOKYO ●ランドスケープアーキテクトセミナー ●公園施設長寿命化計画に関する講習会 (東京) ●日本造園学会「復興の風景像 ランドスケープの再生を通じての復興支援のためのコンセプトブック」発行 ●山本紀久「造園植栽図」発行 	<ul style="list-style-type: none"> ●第30回全国都市緑化とっとりフェア ●CLAホームページリニューアル ●日本造園修景協会がCLA事務所に同居開始 ●ランドスケープアーキテクトセミナー ●公園施設長寿命化計画に関する講習会 (京都) 	<ul style="list-style-type: none"> ●第31回全国都市緑化しずおかフェア ●TOKYO GREEN 2020推進会議主催「2020オリンピックキックオフフォーラム」開催 ●公園施設長寿命化計画に関する講習会
協会賞 CLA賞	<ul style="list-style-type: none"> ●「町田市緑の基本計画」改定を通じた多摩丘陵・里山回廊の確実な保全に向けた手法の検討 ●ギャザリア ビオガーデン「フジクラ木場 千年の森」 ●麗澤大学 森の中の新校舎 ●生物多様性保全型公園の管理運営計画立案と暫定運営 ●第28回全国都市緑化かごしまフェア「花かごしま2011」 ●修験道の霊山「求菩提山」甦る修験の至宝 ～求菩提山史跡修復整備 (福岡県豊前市)～ ●人を元気にするパワーが宿る筑後国一の宮「高良山」 ～高良山保存整備活用計画 (福岡県久留米市)～ ●福岡市 緑のコーディネーター公共空間を創造・保全する担い手育成の取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ●第29回全国都市緑化フェアTOKYOメイン会場 (上野恩賜公園会場・井の頭恩賜公園会場) ●「桜添郷」桜川市景観まちづくりマスタープランおよびリーフレット ●相見駅前空間のランドスケープデザイン ～公園をはじめとした駅周辺都市施設のトータルランドスケープ～ ●協働型管理運営による安全な富士山登山のための情報提供 ●柏崎市文化会館アルフォーレ 外構計画 ●藤沢市ビオトープ管理者養成講座 (上級編) 運営における技術的支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●新宿イーストサイドスクエア ●第30回全国都市緑化とっとりフェア (お花畑会場) 「水と緑のオアシスとっとり2013」 ●中杉通りケヤキ並木60年と育成管理への転換 ●服部緑地で地域・企業とともにつくる新しい価値「パークライフ」～公園経営とエリアブランディングの視点に立ったパークマネジメントの実践～ ●みなとみらい21中央地区水際公園 (高島水際線公園) ●横浜市瀬谷区二ツ橋公園及び瀬谷区総合庁舎敷地外構 ●向山古墳群公園 ●国営木曽三川公園フラワーパーク江南 ●JR荻窪駅北口駅前広場修景整備設計 ●「対馬市環境基本計画」～物語で描く島の将来環境像～ ●愛・地球博記念公園「あいちサトラボ」 ●神戸震災復興記念公園 (愛称：みなとのもり公園) ●中野四季の森公園 ●民間事業者が経営する農業公園のサービス向上作戦 (公園管理運営の改善計画)
作品 論文	<ul style="list-style-type: none"> ●赤羽スポーツの森公園 (自衛隊跡地) 計画設計 ●東横フラワー緑道 ●名勝楽山園整備事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●太田川駅前イベント広場 ●富山県富岩運河環水公園 ●葛飾にいじゅくみらい公園 ●筑波山梅林再生プロジェクト ●道の駅「天童温泉」と天童の町づくり ●式年遷宮記念せんくう館のランドスケープデザイン 	<ul style="list-style-type: none"> ●福岡市動植物園再生事業アジア熱帯の深谷エリア設計 ●港の見える丘公園「プラフ99ガーデン」



2015年 ランドスケープコンサルタンツ 協会賞 [CLA賞]

最優秀賞

【設計部門】

まちなか交流拠点：警固公園実施設計 38

優秀賞

【設計部門】

恵解山古墳公園 40

【設計部門】

豊洲三丁目3街区ランドスケープ 42
(豊洲フロント、豊洲フォレシア、豊洲キュービックガーデン)

【調査・計画部門】

史跡大寧寺 境内墓地 環境整備計画 44
～長門に甦る「墓標の博物館」・大寧寺～

特別賞

【調査・計画部門】

「大理石門関水晶園」概念方案 46

奨励賞

【調査・計画部門】

国営木曽三川公園 カルチャービレッジ 大型遊具等の設計 48

【マネジメント部門】

生物多様性に配慮したまちづくり 49
～練馬区(仮称) ホテルの里事業に対する一連のコンサルティング～

CLA賞の趣旨と募集・選考のあらまし 50

2015年CLA賞 受賞技術者 プロフィール 51

CLA
Award
2015

最 優 秀 賞

設計部門



まちなか交流拠点：警固公園実施設計

株式会社アーバンデザインコンサルタント

大杉哲哉・堤八恵子・棚町修一・小峯裕

カツノ風景デザイン室 勝野靖弘

あい環境設計研究所 扇輝久

設計監修 福岡大学工学部教授 柴田久

設計協力 福岡大学工学部 景観まちづくり研究室

警固公園は、福岡市天神地区の中心にあり、百貨店や専門店、ホテルや映画館を備えた複合商業施設に囲まれた位置にある。公園に隣接し福岡市と県南地区を結ぶ私鉄福岡天神大牟田線の「福岡天神駅」と市営地下鉄「天神駅」があり、天神地区を訪れる人の玄関口となっている。南側は警固神社と隣接し、都心

の貴重なオープンスペースとして市民に親しまれている。反面、改修前の警固公園は、施設の老朽化とともに築山や壁泉、トイレや地下駐車場出入口等の死角が多く、犯罪や迷惑行為の抑制が課題となっていた。再整備計画の立案にあたって「安心で安全な空間づくり」「施設・設備等の老朽化への対応」「公園の機能劣化に対する見直し」の3つの課題を設定した。特に周辺の土地利用の変化にともない、壁泉や水景施設を中心にしたイベント・休憩の空間から都心の憩いの空間や移動空間、また周辺施設の外構・アクセス空間としての見直しが必要であった。

設計にあたり、『天神の中庭』をテーマに新たな都心の公園機能の創出するため、3つの視点を設定した。

作品概要

作品名—— まちなか交流拠点：警固公園実施設計
 所在地—— 福岡市中央区天神2丁目地内
 発注—— 福岡市住宅都市局みどりのまち推進部みどり整備課
 設計—— 株式会社アーバンデザインコンサルタント
 設計協力—— 福岡大学工学部景観まちづくり研究室
 カツノ風景デザイン室
 あい環境設計研究所
 監理—— 福岡市住宅都市局みどりのまち推進部みどり整備課
 施工—— 西鉄グリーン土木・九州グラウンド建設工事共同企業体
 設計期間—— 2011年6月～2012年1月
 施工期間—— 2012年2月～2012年12月
 規模—— 近隣公園 面積A=11,400㎡
 主要施設—— 中央広場、子ども広場、フラワーテラス、園路、地下駐車場
 出入口(外壁改修)、トイレ等

作品評

この作品は、福岡市の業務・商業の中心拠点である天神駅に隣接する約1.1haの公園の全面改修である。当該公園は昭和26年に開園しているが、平成元年に全面改修しており、時代の変遷とともに姿を変えてきた。今回の改修では、多くの既存施設や既存木を残しつつ、また、現況の円形花壇部分の形状を活かしたデザインの展開など、土地の記憶が良く継承されている。

一方、開放的で明るい空間づくりとしたことで防犯性が拡大し、駅や周辺施設との一体感が増したことでイベント開催や集散機能が飛躍的に増大している。求められる時代のニーズに対しリニューアルにより応えた好例である。

地元大学とのコラボレーションにより利用者ニーズを把握し、具体のデザイン展開の検討を進めたことも良好な結果を生み出す大きな原動力になったと考えられる。本作品は、丁寧な仕事ぶりとその成果ならびに解りやすいプレゼンテーションが高く評価され、最優秀賞となった。



①都心の広場としての公園の役割の見直し

周辺施設との一体的な活用や、景観づくり等について役割の見直しを行い、中央に広場を設け周辺にベンチや植栽・花壇を配置し全体を見通せるオープンな空間とするとともに、隣接する警固神社や複合商業施設へのアプローチ空間として公園内に人が溜まれる小広場を設けている。

②周辺からの人の流れを交差、交流させる場所に改変する

憩いの場としての滞留機能に加え、駅や施設を利用する人々が交差・交流する場所として改変する。(駅前広場の機能) そのため、歩道を含めて公園の4辺とともに主要動線として対角線上に明確な園路を新設し、中央に広場を設けた。

③これまで親しまれてきた土地の記憶を継承する

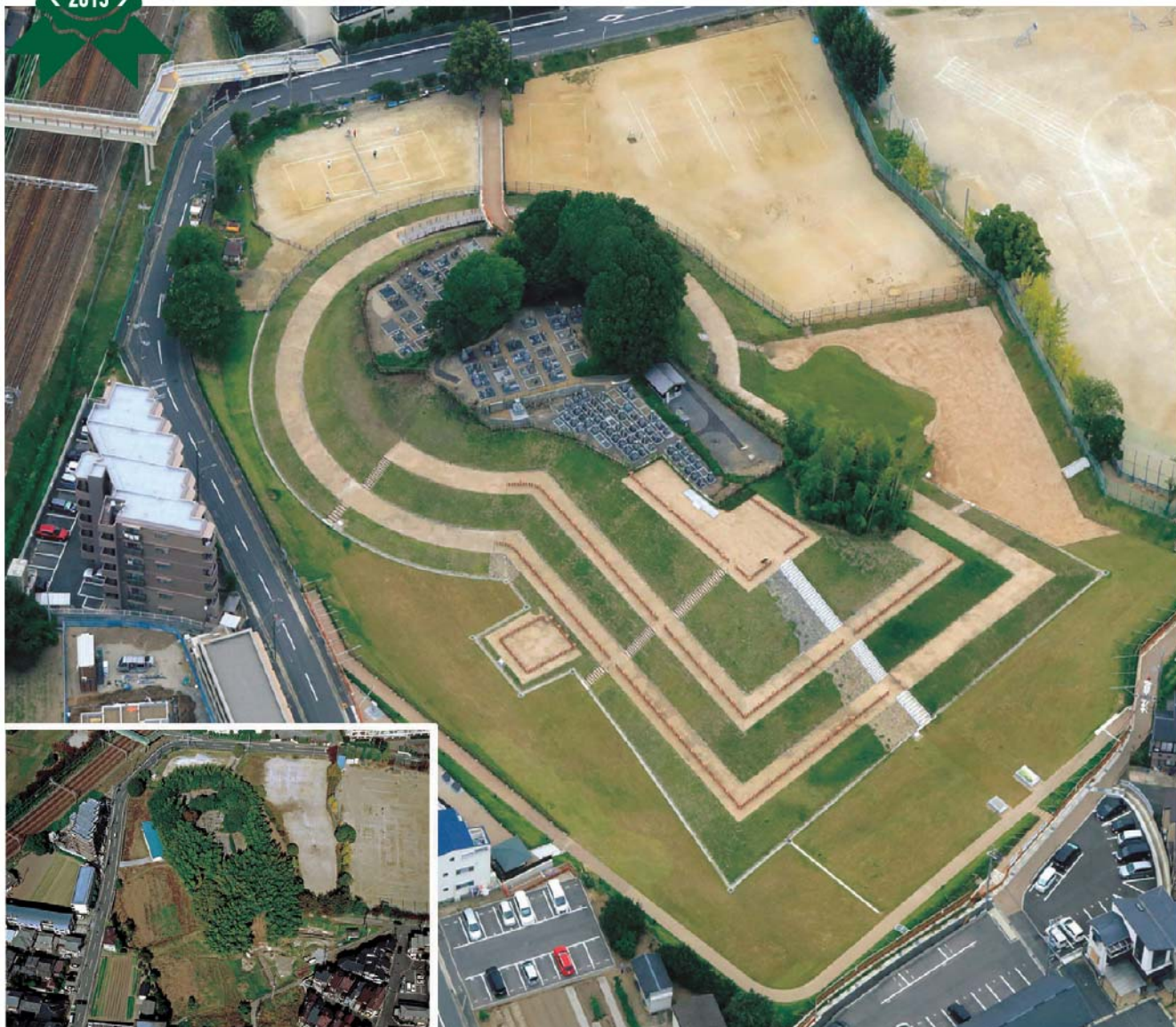
開園以来、天神の変遷とともに公園も姿を変えながら人々に親しまれてきたため、土地の記憶を可能な限り残し、活用している。特に、円形に配置された花壇とベンチは公園利用者に親しまれてきた土地の記憶として残している。

改修後、2年余り経過した警固公園は、天神地区の貴重なオープンスペースとして、多様なイベント空間として多くの人に利用されている。また、隣接する複合商業施設が、公園の再整備後に改修され公園が望めるカフェ等をオープンした。公園の整備においては、公園利用への配慮とともに周辺地区への波及効果が大きな要素であることから、中小規模の公園の再整備により交流拠点を点在させることは、まちなかの歩行者の回遊性を高めるうえで、主要な拠点になり得ることが確認できた。



優 秀 賞

設計部門



整備前と完成後の古墳全景航空写真 **

** 長岡京市所蔵写真

恵解山古墳公園

キタイ設計株式会社

坪倉淳・黒崎道雄・上松昌寛・鳥居彩子・萩原孝司

史跡恵解山古墳は、古墳時代中期（今から約 1600 年前）に築造された全長 128 m の乙訓地域最大の古墳（前方後円墳）である。被葬者は不明だが、全国的に見ても非常に珍しい刀剣などの鉄製武器約 700 点を納めた副葬品埋納施設も発見され、乙訓全域を支配した実力者の墓と考えられる。昭和 56 年 10 月に国史跡に指定され、その後の発掘調査などをもとに、古墳形状や特徴ある造り出しなど、築造当時の形状を保存し整備するための実施設計・監理を行った。

歴史とみどり 人が集う恵解山

古墳の復元整備方針は、「国史跡恵解山古墳保存・整備委員会」

（学識経験者・地元自治会・市民公募委員などで構成）で検討・決定した。委員会においては、整備イメージを共有し、方針決定を円滑にするため、実物大の見本、現地での試験施工の状況など、実際に目で見て確認できるような工夫・説明を行うことで、多様なステークホルダーの意向を取り入れた整備計画案としてとりまとめた。

保存整備の内容は、遺構を保護するため遺構面から 70cm の覆土復元を行う一般的な整備であるが、既存樹木・竹林の保存、土の園路や芝生の周濠、古墳形状を保護するためのコグマザサの斜面部とジオファイバ工法の採用など、土木構造物の露出を最小限に抑えた。また、斜面部の一部には発掘された石を利用した葺石、本物に近い質感を重視した陶器製の埴輪を約 650 本配置するなど、忠実に遺構を復元した。

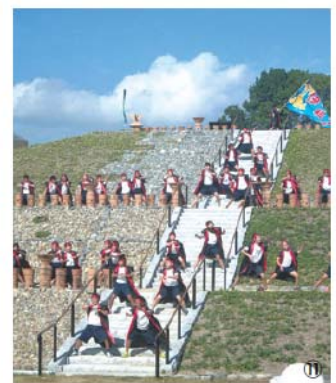
作品概要

作品名—— 恵解山古墳公園
 所在地—— 京都府長岡京市勝竜寺・久貝2丁目
 発注—— 長岡京市建設交通部公園緑地課
 長岡京市教育委員会教育部生涯学習課
 設計—— キタイ設計株式会社
 監理—— キタイ設計株式会社
 施工—— 鴻池・山品特定建設工事共同企業体、有限会社永原造園、
 有限会社丁花園、有限会社植幸田中造園、有限会社
 福島晴芳園、有限会社五島電気、橋井電気商会
 製作—— 有限会社プロジェクト岡見(模型、サイン)、
 岩尾磁器工業株式会社(埴輪)
 設計期間—— 平成23年8月～平成26年3月
 施工期間—— 平成24年9月～平成26年10月
 規模—— 約1.3ha
 主要施設—— 史跡古墳公園、サイン・模型、照明設備、休養施設

作品評

この作品は、国指定の史跡に指定された古墳について、古墳形状の復元と既往植生の整理、そして史跡公園としての活用について解決した事例である。歴史・文化財に関する学識経験者を中心とした委員会、地域住民とのワークショップ、隣接する小学校や中学校との協働などの多様なステークホルダーの意向をまとめた成果となっている。細部のディテールに関してまで委員会との調整を重ね、そのためのプレゼンテーションにも多大な努力が認められる。

設計内容は、古墳の覆土による形状保全を中心に、散策園路とサインといった標準的なものだが、それぞれに時代考証や表現方法に工夫が凝らされている。また、現況植生の一部保全については、委員会も含めた十分な検討が加えられ良質な景観となっている。本作品は、多くの関係者の意見をまとめながら良好な成果へと導いた幅広い技術力とコンサルティング能力が高く評価され、優秀賞となった。



- ①青空を背景に竹林とクスノキ、斜面部のコグマザサの緑が一体的に栄える前方部 ②近隣住宅地にはなかった広い芝生広場と園路は散歩や子どもたちの遊び場として利用されている ③恵解山古墳の特徴のひとつである西進り出し ④地元ボランティアガイドの勉強会 ⑤発掘調査で出土した実際の石を使用して墓石を復元、墓石とコグマザサが将来自然に重なるように配置 ⑥整備方針図 ⑦古墳内の竹林で小学生による地域特産のタケノコ掘り学習 ⑧本物の質感、形状を重視した陶器製の埴輪は一本一本ハケ目を施し、約650本公園内に設置 ⑨乙訓地域にある古墳の位置を示した地形模型 ⑩GRC製の古墳復元模型 ⑪開園を祝う小学生の演舞

園路は、墳丘の一定の高さまではバリアフリー園路として周遊できるようにスロープを設けた。テラス面は、歩行の快適性を確保しながら往時の土のイメージを感じさせる舗装、長岡京市特産の竹の色をイメージしたフットライトを設置や雨水貯留機能を持たした周濠等、公園利用者の安全性確保、古墳景観保全と地域との調和を図り、地域の人たちが親しみ憩える空間の形成を心がけた。

みどりゆたかな恵解山

史跡指定区域内(約1.9ha)には学校用地(周濠部)、地元の墓地(墳頂部)といった土地の制約がある中、公園としての整備だけでなく、史跡としての形状復元、既存竹林の保全、完成後のボランティアガイドの活用を見据えた整備等の両立が求められた。特に墳丘全体が手入れの不十分な竹林と雑木で覆わ

れており、大半の樹木を伐採する必要があった。隣接する長岡第八小学校の校歌に「みどりゆたかな恵解山」と表現されている点も考慮し、西側(道路)からは古墳の形状復元を重視しつつ、東側からは緑の景観を重視して、既存のクスノキを保全し、竹林は管理の一環として子どもたちのタケノコ掘りがしやすい保存整備を提案し、地域の歴史学習やイベントのフィールドとしても活用できる施設計画を行った。

古代のロマンと地域の共存を目指して

平成26年10月、恵解山古墳公園として開園した。

開園後も、イベント時には市内外から多くの来訪者で賑わいを見せており、「歴史・文化をつなぐ市南部の新しい拠点」としての貢献が期待される。



優 秀 賞

豊洲三丁目3街区ランドスケープ (豊洲フロント、豊洲フォレシア、豊洲キュービックガーデン)

設計部門



豊洲三丁目3街区ランドスケープ全景 右から豊洲フロント、豊洲フォレシア、豊洲キュービックガーデン
撮影：FOTOTECA

「豊洲三丁目3街区ランドスケープ」は、石川島播磨重工業造船工場跡地を中心とした「豊洲2・3丁目地区再開発等促進区」の中央に位置する約300m×150mの整形な敷地を、3つの異なる事業スキームが連携し、まちづくりに取り組んだプロジェクトです。事業主体や設計者、工期が異なるため、始めに3街区が一体となって全体マスタープラン策定、全体基本設計を行うことで一体性のある空間を実現しました。

計画地は、地区の中心軸となる晴海通り、地区の生活軸となるけやき通りに面し、周囲にはオフィスビル・商業施設・集合住宅・大学があります。このような「職・住・学・遊」の機能が集結する豊洲において地域の回遊性を高め、多種多様な日常生活を彩るパブリックな空間の創出を目指しました。

晴海通り沿いは、3棟の建物外壁ラインを揃えたエリアのシンボルとなる「ビジネスコリドー」として整備しました。3街区を貫いて屋根付きの緑化パーゴラを整備すると同時に、街区全体で舗装材料やパターン・シマトネリコの木立・水景等の仕様や配置を揃えています。パーゴラの柱位置や高さ、緑化樹種に変化を与え、シェルターやアートによる滞留空間を点在させています。屋根付き緑化パーゴラは地下鉄連絡通路へ接続し、全天候で快適な歩行者空間を実現しています。

晴海通りと同様に3敷地を貫くけやき通りには、通りの名称にちなみケヤキを3街区全体に列植しています。集合住宅に面し大学へのアクセス路となることから、憩いのスポットとなるデッキを各街区がそれぞれ展開させ、日常的な賑わいを創出し

株式会社三菱地所設計

植田直樹・塚本敦彦・松榮宏幸・萩原麻衣子・
多田裕樹・国府田道夫・野村和宣・高橋洋介・
山田俊紀・梶隆之

清水建設株式会社 大西正修・鼻戸隆志

第一生命保険株式会社 梅垣春記

フィールドフォー・デザインオフィス 北島暢哉

設計組織ブレイスメディア

宮城俊作・吉田新・霜田亮祐

作品概要

作品名—— 豊洲三丁目3街区ランドスケープ

(豊洲フロント・豊洲フォレシア・豊洲キュービックガーデン)

全体マスタープラン・全体基本設計

—— 株式会社三菱地所設計、清水建設株式会社、設計組織ブレイスメディア

3街区全体敷地面積

—— 46,185.28㎡

主要施設—— 事務所、店舗

■豊洲フロント

発注—— 株式会社IH、豊洲3の1特定目的会社(開発業務受託者:三菱地所株式会社)

設計—— 株式会社三菱地所設計、設計組織ブレイスメディア

施工—— 鹿島建設株式会社 施工期間:2008年12月-2010年8月

■豊洲フォレシア

発注—— 株式会社IH、豊洲三丁目開発特定目的会社

(開発業務受託者:三菱地所株式会社)

設計—— 株式会社三菱地所設計

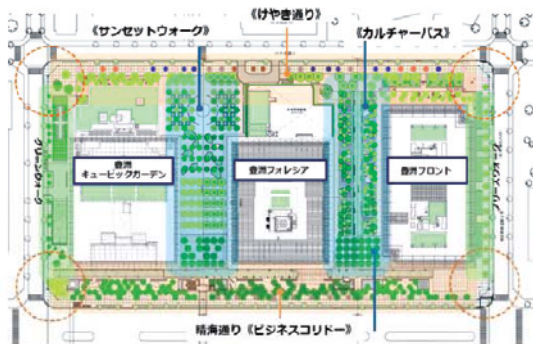
施工—— 株式会社大林組 施工期間:2012年8月-2014年7月

■豊洲キュービックガーデン

発注—— 第一生命保険株式会社

設計—— 清水建設株式会社、梅垣春記(第一生命保険株式会社)

施工—— 清水・前田・日本建設共同企業体 施工期間:2009年1月-2011年1月



①晴海通りビジネスコリドー※ ②産業遺構アート※ ③カルチャーパス※ ④晴海通りビジネスコリドー※ ⑤晴海通りビジネスコリドー※ ⑥カルチャーパス※ ⑦サンセットウォーク※ ⑧けやき通り※ ⑨けやき通り※ ⑩サンセットウォーク※ ⑪けやき通り・豊洲フォレシア壁面緑化※ (※)撮影:FOTOTECA

ています。特に豊洲フォレシアでは、建物低層棟を長さ 120m の壁面緑化で包み、さらに緑あふれる街路を演出しています。これらの晴海・けやき両通りでは豊洲地区で共通の歩道舗装パターンや隣接地と連携した高木樹種を敷地内に引き込み、官民境界を意識させない広がりのある歩行空間を形成しました。

街区間は、建物壁面を互いに 15 m ずつセットバックし、晴海通りとけやき通りをつないだ街の回遊性に貢献する歩行者空間です。両街区がシメトリーなデザインを行うことで敷地境界を意識させない一体的な空間づくりをしています。ヒューマンスケールな緑の散策路「カルチャーパス」、広場が連続して展開する「サンセットウォーク」と個性ある空間づくりを行っています。

さらには街区全体で緑化率 40% 相当となる「身近な緑陰空間」を3つの事業で実現したことにより、埋立地に由来した豊洲に多様な日常を彩り、親まれる緑豊かなオープンスペースを3つのプロジェクトが一体となって形成しています。

作品評

この作品は、ひとつの街区の中に建つ3つのオフィスの外構を統一的に整備した好例である。3つのビルは、それぞれ事業主体や設計者、施工時期が異なるため、通常は結果としてバラバラな形となる例が多い。本作品では、設計当初に関係事業者を集めて、全体マスタープランを作成し、共有できる設計方針を取りまとめたことが大きく評価できる。壁面後退幅を同様とし、デザインの方向性や場毎の演出方法を取りまとめて、共有化している。これにより、それぞれのビルの竣工時期に4年の差が生じても統一的な整備が出来たものと考えられる。

埋立地に創出された多彩な緑が良好な景観を生みだし、地域に新たな息吹や価値を付加している好例である。個々のディテールも十分検討されており、手堅く良質な空間が生み出されている。明確で解りやすいプレゼンテーションも高く評価された。



優 秀 賞

長門に甦る「墓標の博物館」・大寧寺

調査・計画部門



大寧寺は600年の歴史を持つ曹洞宗寺院で、山口県長門市湯本門前に位置する。周辺には湯本温泉、ゲンジボタル発祥地、桜や紅葉の名所があり、多くの来訪者で賑わっている。

大寧寺境内には大内義隆家臣と萩藩上級武家層の墓があり、県指定史跡となっている。墓石も五輪塔、宝塔など日本でみられる石塔形式がほぼ揃っており、墓標の博物館ともいえる。

大寧寺境内墓地は約6000㎡の斜面地に250基程の墓石があったが、度重なる豪雨により被災し、その多くが流出、転倒したままの状態で今日に至っている。

本計画では被災した墓地の表面的な修復だけではなく、その根本にある史跡地の水環境、植生環境、利用環境（散策・景観）を改善して史跡地の恒久的な修復を図るとともに、周辺資源とのネットワークを形成することで相互の付加価値を高めるため

に以下のような提案を行った。

防災面の提案

被災の主たる要因は、豪雨に対応できる排水施設が不備だったことから、当時（大正期を復元時期と設定）なかった砂防的な集水施設、排水路の新設、流入する雨水量に対応した水路断面の確保などを提案した。

植生改善の提案

樹木には「美しくやすらぎのある景観の形成」などの効用があるが、史跡地においては悪影響を及ぼす懸念材料となっていたので、史跡と樹木との相反する関係性を見極め、長期的な視点に立った植生改善が必要と考えた。

そこで、樹木の根茎成長による史跡への影響、枯木や空洞化による倒木の危険性、食害被害等の状況を調査し、3つのラン

株式会社アーバンデザインコンサルタント
 棚町修一・堤八恵子・大杉哲哉・小峯裕
 株式会社木村環境デザイン室 木村博志

作品概要

作品名—— 長門に甦る「墓標の博物館」・大寧寺
 ～史跡大寧寺境内墓地環境整備計画
 対象地—— 山口県長門市湯本門前
 発注—— 宗教法人 大寧寺
 事業目的—— 豪雨により荒廃した大寧寺境内墓地を本来の姿を取り戻し、来訪者の歴史学習の場、憩いの場など魅力的な活用となるような環境整備計画の立案を目的とする。
 事業体制：— 「大寧寺境内保存修復・復元検討委員会」(学識経験者、行政、大寧寺により構成)での審議を踏まえ、計画案の立案を行った。
 協働者等—— (株)木村環境デザイン室
 事業期間—— 平成23年3月～平成24年3月
 事業規模—— 6,000㎡



①境内での花見 ②紅葉に彩られたお地蔵 ③境内横のゲンジボタル発祥地 ④湯本温泉 ⑤山あいに行む大寧寺 ⑥大内義隆主従の墓地 ⑦荒廃した墓石群 ⑧洗濯された墓道 ⑨倒木により被災した墓石

クに分類して、今後の伐採、整枝などの提案を行った。

- ・ Aランク：史跡に直接悪影響を及ぼしている樹木
- ・ Bランク：樹木自体に空洞化等の不具合がある樹木
- ・ Cランク：根茎が石積の結束をより強固にしている樹木

史跡修復手法の提案

大寧寺に関するこれまでの資料に基づき、史跡の歴史的価値を活かしながら史跡の要素ごとに下記のような修復方法を提案した。

- ・ 石垣は史跡地内の石垣を参考にした石組みとする。
- ・ 墓石は部材の特徴を見極めて組合せて、修復する。
- ・ 墓道は石畳修復を基本とし、年配者等に配慮する。

学習・観光・日常生活空間としての付加価値づくりの提案

春の桜、夏の新緑やゲンジボタル鑑賞、秋の紅葉、冬の雪景

色など四季折々の彩りの中での日常の散歩やレクリエーションを楽しみ、「墓標の博物館」を探訪することで歴史の魅力に触れ、湯本温泉などの観光資源とのネットワークにより満足度を高められるような付加価値づくりを提案し、地域の活性化に貢献することを旨とした。

作品評

この作品は、山口県長門市に古くから伝わる毛利氏ゆかりの寺院における境内墓地の修復を中心とした全体整備計画である。裏山から流下する水勢や倒木ならびに樹木根茎の発達等により、中世以来の歴史を持つ多くの墓標等が崩落・散在していた。地元識者による委員会の歴史的考察や指導を踏まえつつ、全体の防災計画、利用計画など単に従前環境を復元するのではなく、今後のあり方を踏まえた提案がされている。

既存木の状況調査に代表される詳細な調査と防災計画に結実した丁寧な検討が行われ、周辺観光施設とのネットワーク利用に関する提案まで幅広い提案・成果の内容に評価が集まった。ホームページを中心に、地元の関心も高く、今回の計画に対する市民評価も良好である。また、提出された資料も解りやすく、系統的に整理されていた点も評価され、優秀賞となった。



「大理石門関水晶園」概念方案

株式会社 東京ランドスケープ研究所

小林治人（設景統括）・楊貴宝（設景統括補佐）
青島利浩（建設基盤計画）・小林新（環境評価）
羽田泰章（編集総括）

国際設景集団 中曽根敏和（建築）・長木清（建築）

片山正樹（建築）・森沙耶香（建築）
伊藤敏和（デザイン）・堀越千里（植栽）
山中達（ランドスケープ）・楊理亜（翻訳編集）

背景と計画の経緯

大地とかかわりのある開発業務において、視認できる「景」の良否が環境・人・文化の関係が望ましい姿で構築するための試金石とすることを強く意識した仕事である。

建築・土木・デザイン・環境など既存の職能間の壁を取り去ったフラットな形の専門家チームと国際基準の美意識を共有化していきながら、地域の人々の意識改善を心がけ、開発に向けて

思想やデザインの提案を行った。

ランドスケープ・造園職能の範囲を設景の概念で統括し、自然景勝地における開発行為において建築・土木主導だけではいけない時代であることを、地元人民政府・大手銀行など投資家に説くと共に、地域の人々の意識改善を心がけることで、投資家や地域の人々から共鳴を得ることに至った。

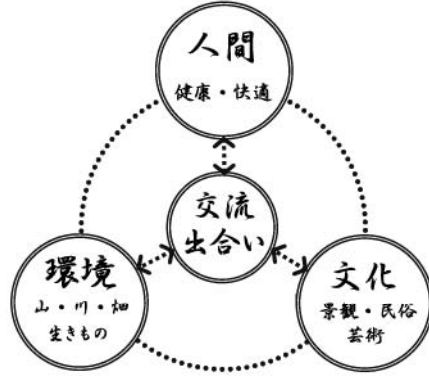
経済的に発展した中国においては、近時内陸に向けての社会資本整備事業が注目されている。巨大な中国国土の中で関心が高い雲南省大理市にある景勝地石門関を中心とした世界地質公園への観光客増大を予測した施設整備について、設景家小林治人の感性で事業の方向付けを依頼されたところから始まった。現場での発想を重視して計画作業中7回にわたりチームメンバーは現地調査を行い現場で協議を重ねていった。

作品の特色と提案概要

調査・計画にあたっては、豊富な水源や石材（大理石の産地）

作品概要

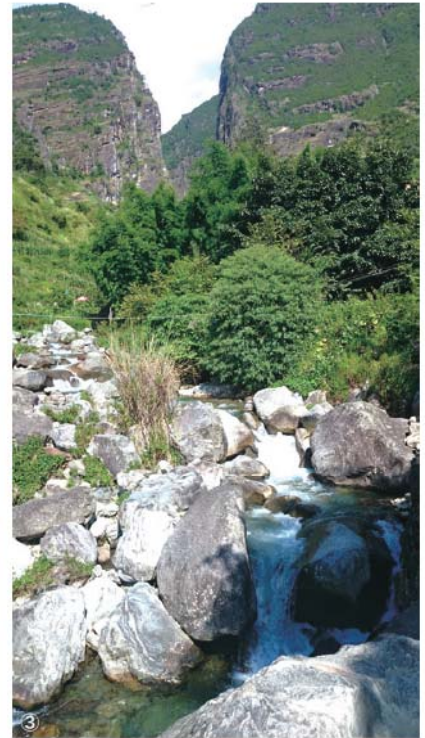
作品名——「大理石門関水晶園」概念方案
 事業対象地——大理蒼山漾濞泉の景勝地である石門関地先
 発注——大理蒼山漾濞石門関旅遊開発有限責任公司
 事業目的——雲南省大理市の景勝地石門関を中心とした世界地質公園(2014年9月29日登録)への観光客増大を予測した施設整備について、設景の見地から概念方案を策定する事が目的である。
 事業体制——株式会社東京ランドスケープ研究所+国際設景集団
 事業期間——2014年4月25日～2015年1月15日
 事業規模——22.4 ha



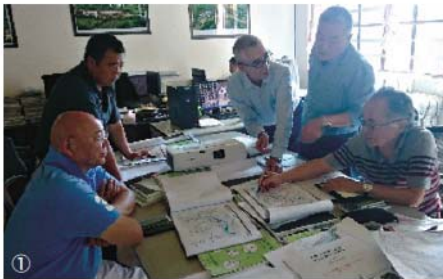
作品評

この作品は、中国雲南省大理市の景勝地「石門関」地区において、増大する観光客に対応するリゾート型の宿泊施設を計画したものである。しかし、その規模は広大で、南のシルクロードと云われる「茶馬古道」ゆかりの歴史施設を含めた歴史的町並み地区や高所得者層を対象とした保養施設地区、リゾート全体のセンターとなる地区等から構成されている。石門への景観と施設中央を流れる石門河への景観を活かした階段状の敷地造成、ならびに既存水路から利用できる水を随所に活用した全体の景観構成など、広大なスケールの中にきめ細かい計画が展開されている。

計画者の豊かな経験が、コラボレートメンバーの気持ちと考え方をまとめ、明快な目標のもとに成果をまとめて上げた点が特に評価され、特別賞となった。



①設景協議の様子 ②清流の水源 ③石門関と清流
④豊富な石材と清流 ⑤石門関



や土地の歴史、文化など、土地の持つ貴重な資源を把握し、計画に活かすことを心がけた。

現地調査や現場での協議を踏まえ、事業採算性、環境性、施工性、観光地としての魅力づくりなどを熟慮して事業の呼称について国際的観光地を前提とした「国際クリスタルリゾート」として次の9点に着目し計画の立案を行った。

- ①中国の社会的背景として、高齢化現象を迎えていることを意識した滞在型保養施設を計画した。
- ②地域の歴史的背景である茶葉古道は南回りシルクロードの一部であるところから道路福音を4mに抑え歴史をしのびながらショッピングなど楽しめる街並みとした。また、茶葉古道沿いの建物は、1階は食堂・商店を主体とし、2階は宿泊施設とした。
- ③植栽は標高1600m前後の場所ではあるが、比較的多様な種が利用できる。

④世界地質公園として世界遺産を申請している現場は巨大な岩が点在しているため建物の中に取り入れるなど工夫した。

⑤清冽な川の流れを庭園として位置づけて土木的な護岸など設置しないとした。

⑥敷地の各ゾーンや建物からこの地区の特長である「石門関」への景観を確保できる計画とした。

⑦建物の壁と屋根の色については、基本的に地元少数民族の民家の黒と壁の白を採用し提案した。

⑧中国国内でも人気の高い「囲碁」に着目し、棋院を設置して国際大会ができるようにした。

⑨全体的に超高級な施設より広く一般人が利用しやすい施設レベルを計画した。

今後は、設景家集団として土木・造園・河川・温泉などの構想作成を統括し、当該作業の後も事業全体の総監督を務める計画である。



奨 励 賞

国営木曾三川公園カルチャービレッジ 大型遊具等の設計

設計部門



①「水の神」をモチーフにした竜の遊具②山並みを背景にそびえる竜の遊具③天空浮遊（ネットチューブ）④竜のカシラ（頭）⑤竜のドウ（胴）⑥竜のヒゲ（髭）

株式会社ブレック研究所 安河内泰男・松崎淳
中央コンサルタンツ株式会社 三浦利夫・浅野誠一

カルチャービレッジは、国営木曾三川公園「中央水郷地区」の1拠点で、昔から輪中として特有の生活・文化を形成してきた木曾川、長良川に挟まれた地域に位置し、その用地の一部は木曾川下流の右岸に隣接している。

豊かな濃尾平野を培ってきた木曾三川を「川の神の竜」とみなし、カルチャービレッジのシンボルとして竜の遊具を設置した。

この遊具は「水の神」の竜が、天空を舞う姿をあらわす。天空から下界を見渡すカシラ（頭）、左右に長く伸びたヒゲ（髭）、風にたなびく吹流しのようなドウ（胴）の3つの部位からなる。

竜の遊具の位置はカルチャービレッジの南側で広大で緩やかに隆起する芝生の丘の頂部としている。丘からは木曾三川沿いの輪中地域、濃尾平野、養老山地等を一望することができる。

作品概要

作品名—— 国営木曾三川公園カルチャービレッジ
大型遊具等の設計
所在地—— 三重県桑名市長島町西川地先
発注—— 国土交通省中部地方整備局木曾川下流河川事務所
設計—— 株式会社ブレック研究所(基本設計)
中央コンサルタンツ株式会社(実施設計)
施工—— 大島造園土木株式会社
(遊具関係:内田工業株式会社)
設計期間—— 平成16年11月~平成17年3月(基本設計)
平成19年2月~平成19年3月(実施設計)
施工期間—— 平成21年10月~平成22年3月(大型遊具等)
規模—— 約5ha(設計対象全体)
主要施設—— 竜の遊具、霧の輪中

作品評

この作品は、広大な芝生広場のシンボルとして、公園の立地特性である川や水の神である「龍」をモチーフとした大型遊具を整備したものである。公共工事における経費縮減が声高に謳われて久しい中で、こうした施設に出会うことは新鮮な気持ちを蘇らせるという意見があった。

設計コンセプトからデザインへの展開は単純明快で解りやすく、ストレートに形へとつながっている。また、シンプルなデザインの中に、遊びへのチャレンジや安全性への配慮、経費縮減などの工夫が詰まっているといえる。

ただし、基本計画から基本設計、実施設計という流れの中で、特に今回の場合はそれぞれの担当者が違うため、どのような検討の変遷があったのかなどの説明をもっと充実させて欲しかった。また、あまりにも単純化・象徴化された形態から、「龍」のイメージに結び付きにくいと意見もあり、奨励賞となった。



奨 励 賞

生物多様性に配慮したまちづくり

～練馬区（仮称）ホテルの里事業に対する一連のコンサルティング～

マネジメント部門



- ①完成したホテルの池
- ②ホテルの生育池の管理に関するワークショップ
- ③管理用足場としての飛び石を据えた
- ④池の周囲にセリ・フキ等を植栽した
- ⑤ヘイケホタルの幼虫、タニシ、カワナナ、モノアラガイを放流した



株式会社東京ランドスケープ研究所

小林新・上田早織・野間慎司・武田巨典

基本方針

- ①生物多様性保全のための環境整備
- ②ホテルの生息環境の回復・創出
- ③管理運営体制の構築

環境整備にあたっては、右上に示した『HOTARU』に込めた6つの視点を踏まえ、練馬区の原風景を思い起こすことのできるホテルの里づくりを目指し、3年間にわたりコンサルティングを行った。

かつて練馬区では、石神井川、白子川などでホタルの飛ぶ姿が見られ、自然豊かな環境に生息するホタルは、みどり豊かな練馬区の象徴であった。「(仮称)ホテルの里事業」は、ホタルを豊かな水やみどりのシンボルとしてとらえ、ホタルを区民とともに育成し、自然と命の大切さを広く伝え、またかつて見られた自然環境を再現し、生物多様性保全の場をつくることを目的とする取り組みである。

H O T A R U	Healthy environment	健全な環境の創出
	Open space	区民協働型の緑地の管理・運営
	Teaching	環境学習や科学への知的好奇心の促進
	Art	芸術・文化活動の促進
	Recreation	区民の憩い・交流・遊び・観察の場
	Universal design	区民誰もが、生物までもが喜ぶ場の創出

作品概要

- 作品名——生物多様性に配慮したまちづくり
～練馬区(仮称)ホテルの里事業に対する一連のコンサルティング～
- 依頼者——練馬区みどり推進課
- 対象地——練馬区大泉町1-5-1
- コンサルタント——株式会社東京ランドスケープ研究所
- 業務期間——2012年6月～2014年12月
- 規模——約2,500㎡
- 主要施設——ホテル池と流れ・園路など

作品評

この作品は、練馬区内でかつて見られたホタルを、豊かな水やみどりのシンボルとしてとらえ、ホタルを区民と協働で育成することで、自然と命の大切さを伝える「ホテルの里事業」を立ち上げたものである。提案者は事業の実施計画をまとめ事業地の設計を行い、その地を維持管理する組織をまとめた。3年という短い期間の中で、HOTARUという全体方針をまとめ、対象事業地を決めるとともに専門家を交えたワーキングを重ねつつ設計を行い、観察会まで実施した努力が評価され、奨励賞となった。